

2022年12月19日

## ユタカフーズ株式会社 中期経営計画 (2023年3月期 ～ 2025年3月期)

当社は、「人・食・味を豊に」の企業理念の基、お客様の要求に応える製品を提供し、その企業活動において社会に貢献できる事業活動を推進しております。

中期経営方針として「社会と家族（自分）のために自分の力を発揮できる普通の会社」を掲げ、品質第一の姿勢を貫き、安心・安全な製品を提供することを基本としております。

さらに、生産面につきましても人材育成の充実とローコストオペレーション体制を実現できるよう創意工夫し、さらなる収益基盤の強化と安定化を目指し、昨今のコロナ禍の影響による消費動向の変化や、地政学リスクによる原材料・資源の高騰等にも対処しつつ、安定的かつ持続的な成長を維持する事を目的として中期経営計画を策定致しました。

### 【中期経営計画 概要】

当社は、2023年3月期から2025年3月期の3ヵ年を新しい生産体制構築による飛躍に向けての準備期間と位置づけ、2つの基本方針を基に立案した基本戦略に則った各種施策を実施し、自社ブランド強化、省力化・省人化による利益体質工場への転換、ダイバーシティ推進（人材育成）に取り組み、更なる安定的かつ持続的な成長につなげてまいります。

#### 1. 中期経営計画 基本方針

- (1) 独自技術を生かした自社ブランド品の売上比率の拡大による経営の安定化
- (2) 生産体制の再構築による利益体質への転換と人材育成による経営基盤の強化

#### 2. 中期経営計画 基本戦略

- (1) 独自技術からの新たな食文化の創造  
積極的な製品提案・開発体制の強化
- (2) 競争力向上のためのコスト構造の改革  
最適な設備投資と業務の効率化・適正な生産体制による筋肉質なコスト構造への転換
- (3) 経営基盤強化のための人材育成  
ダイバーシティ推進による人材登用と人材育成

<2023年3月期 ～ 2025年3月期>

		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
独自技術からの 新たな食文化の創造	市販	東海地区へのブランド浸透		
	液体	大手との取組強化	販路の拡大、環境に配慮した製品の拡売	
	粉体	取引先との取引拡大による生産体制の安定化		
競争力向上のための コスト構造の改革		省力化・省人化による最適な生産体制の構築		
		コスト削減、廃棄物・CO2排出量削減		
		FSSC22000を活用した安全安心な製品供給体制		
		(*)チルド新工場建設、生産開始		～ 2026年3月期
経営基盤強化のための 人材育成		女性管理者の育成、外部・内部研修による意識改革とスキル向上		
		東洋水産グループ間・部門間の人材交流による技術伝承・多能工化の推進		

(ご参考)

\*チルド新工場建設

当社は生産拠点として愛知県武豊町に本社工場を有しておりますが、近年設備の老朽化が進んでおり、新たな目標の達成に向けて生産能力の増強は不可欠であるとの判断から、人材不足への対応に向けた省力化、衛生的で働きやすい環境設備により製造効率、品質管理の向上を図り、高品質・低コストの安心安全な製品を供給できる新工場を建設することを決定し、その準備を進めております。

新工場では、環境面でも既存の設備投資よりもCO2排出量を削減できる設備設定とするだけでなく、ボイラーや茹で槽排水の排熱を活用する事で環境負荷軽減を実現できる仕様を予定しております。

( 建設着工予定：2024年1月 生産開始予定：2025年5月 )

### 3. 中期経営計画 数値目標

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	15,010百万円	12,750百万円	12,300百万円	12,400百万円
営業利益	1,358百万円	1,000百万円	750百万円	800百万円

2023年3月期より、取引先からの受託製品の減少、武豊工場のユーティリティ整備への投資による減価償却費の増加に伴い、売上高・営業利益減少の見込みとなっております。

この3年間で、最適な設備投資と業務の効率化・適切な人員配置による筋肉質なコスト構造への転換に取り組み、2025年5月稼働予定のチルド新工場を起点として、売上拡大と利益率向上を図ってまいります。

### 4. 2023年3月期から2025年3月期までの3年間の主な設備投資とキャッシュフロー

設備投資の資金としましては自己資金で充当することを予定しており、外部資金調達による有利子負債の増加やその金利負担を回避することを企図しております。

#### (主な設備投資)

- ・武豊工場ユーティリティ整備 1,339百万円
- ・チルド新工場建設 (2025年5月稼働予定) 9,900百万円

#### (キャッシュフロー)

- ・22年3月末 自己資金残高 14,730百万円
- ・営業キャッシュフロー (23/3期～25/3期 累計) 3,600百万円 ～

#### (参考)

- ・減価償却費 (23/3期～25/3期 累計) 1,700百万円 ～

(注) 本計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上